



4/14 道路を渡るときは右見て、左見て、必ず手を上げて、渡りましょう(交通安全教室で学ぶ鳥茂渡小児童たち)



4/10 自転車は子どもたちの一部分。それだけに注意が必要です(普代小交通安全教室)

春の交通安全教室によせて



4/11 萱場久司普代駐在所長に交通ルールについて指導を受ける堀内小児童たち



交通事故から命を守るのは、自分自身です(自転車の乗り方を学ぶ黒崎小児童たち) 4/15 (交通安全教室から)

黄色い帽子、傘贈る

新学期が始まった四月八日、児童の交通事故防止を願い、新入生を迎えた普代、黒崎、堀内、鳥茂渡の四小、学校新入生三十人に、黄色い帽子、黄色い傘が贈られました。

「はしゃいで、道路にとび出すのが怖いです。必ず声を掛けてから送りだすようにしたいと思います。一年生になったことで大人の

黄色い帽子は村交通安全対策協議会(会長、深渡宏村長)から、黄色い傘は県交通安全協会普代分会(太田岩藏会長)からそれぞれ贈られました。普代小学校での贈呈式では、太田会長と村交通安全母の会会長でもある村交通指導員の落合さち子さんから、新入生一人ひとりに手渡されました。



太田会長(左)から児童一人ひとりに傘が贈られました(4/8普代小)

真新しい傘と帽子を手にした新屋貴文くん(鳥居)は、「黄色い傘と帽子をありがとうございます。交通事故にあわないように気を付けて学校に通います」とうれしそうに話してくれました。

「はしゃいでいるから、気をつけさせたいですね」と、中央区の柳澤牧子さん(三九・主婦)はわが子、海華ちゃんの顔を笑顔で見つめながら、交通安全の大切さを再認識していました。